



参道の老杉の奥に拝殿を臨む—御所市鴨神で

鴨族発祥の地に鎮座

全国の鴨（加茂）社のある「延喜式神名帳」で「名神大社」に列せられた古社で鴨族発祥の地に鎮座する当神社は、

金剛山の東麓、風の森峠の西方の御所市鴨神に位置し、大きな森を背に南面して鎮まっています。平安時代の神社一覧である「延喜式神名帳」に記載されています。また、本殿には木御歳神社（中鴨社）や鴨都波神社（下鴨社）に代）や千体仏画像なども残され、神仏習合の名残を今にとどめています。

正面の鳥居の横には、神社には珍しく鐘楼があり、梵鐘の銘文には神

本殿は、檜皮葺きの三間社流造（正面の柱間が三つあり、屋根が前に伸びた建築様式）で中央の間を広くして唐破風を入れ、その意匠や本殿に

（住所）御所市鴨神 1110
（祭神）阿遲志貴高日子根命、事代主命、阿治須岐速雄命、下照姫命、天稚彦命
（文化財）本殿（国重要文化財）
（電話）0745・66・0609

（交通）近鉄御所駅から奈文バス「風の森」下車、徒歩約15分
（拝観）午前8時～午後5時
（駐車場）有（約40台）、無料
（電話）0745・66・0609

境内の500種2000鉢にも及ぶ「日本さら草」が毎年4月末ごろに見ごろを迎えます。

（奈良まほろばソムリエの会会員　岡田充弘）



高鴨神社（御所市）

